

文化の丘

静岡県立中央図書館だより

平成 26 年冬号
(ISSN 1345-2282)

No.344

- 1 歴史文化情報センター
- 2 授業の種
館長この1冊
- 3 伊豆歴史散歩
昔へいざない
- 4 イベント情報

静岡県の歴史
を調べるなら
ここ!

歴史文化情報センター

静岡県立中央図書館歴史文化情報センターでは、静岡県の歴史・風土を調べた静岡県史編さん事業に伴い収集した約 16 万点の資料を所蔵しています。どなたでも自由にご覧いただけます。

※詳細は、「平成 23 年冬 静岡県立中央図書館だより 332 号」でも紹介しています。

■所蔵資料

【図書・雑誌】

『静岡県史』、『マンガ静岡県史』、県内各市町村史、他府県史、研究紀要、辞典類など約 7,000 点。

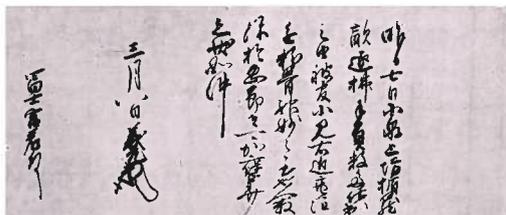
※『マンガ静岡県史』は県立中央図書館本館で購入ができます。

【新聞】

明治以降、県内で発行された新聞の縮小複写版を所蔵。申請書を提出後、閲覧室でご覧いただけます。

【古文書・写真】

静岡県史編さん事業に伴い収集した複写古文書、絵画などの文化財写真、民俗芸能写真などの資料、約 16 万点、240 万枚。その他、県立中央図書館所蔵文書。



「今川義元感状」 大室司富士家文書 静岡県立中央図書館所蔵資料



所蔵資料を活用!

歴史文化情報センターでは、所蔵資料を使って、利用しやすい歴史資料を作成しています。当館Webサイトからご覧いただけます。

詳しくはこちら

歴史授業の補助教材

『授業の種』

・・・ P 2



伊豆の歴史がわかるガイドブック

『伊豆歴史散歩』

・・・ P 3



自宅からも閲覧可能!

所蔵資料の約半数を、インターネット上で公開しています。
県立中央図書館Webサイトの右側にある
「歴史文化情報センター」アイコンをクリック!



■ご案内

開館時間 午前9時～午後5時 ※資料の閲覧請求は、午後4時30分まで
休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始 ※このほかに臨時休館する場合があります。
所在地 住 所 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル7階
電 話 054-221-8228 FAX 054-255-3988 メール rekibun02@tosyokan.pref.shizuoka.jp

「授業の種」とは・・・

『静岡県史』編さんで収集された約16万点の資料は、現在、歴史文化情報センターに保管されています。それらの資料を皆様にご覧いただくため、長年にわたり公開手続きを続け、現在では多くの資料をWebサイトでご家庭からご覧いただけるようになりました。しかし、これまでは当センターが所蔵する資料の閲覧や利用は多くが歴史の専門家で、一般の方々が県史で集めた資料をご覧いただく機会はほとんどありませんでした。これまでも「資料紹介」として所蔵する貴重資料をWebサイトで公開してきましたが、あわせて学校の授業でも使える歴史教材として「授業の種」を公開しています。

当センターが所蔵する資料は、江戸時代以前の判読が難しい文字（くずし字）や明治初期からの新聞や布達、古い絵図など知的好奇心をくすぐる資料が多数揃っています。それらの画像資料（紙焼き写真）をスライドに、また『静岡県史通史編』を基に説明文を作り、PDF形式で公開しています。今後、学校でのICT（情報通信技術を活かした）教育が進む中、静岡の歴史を教える先生方の教材（ソフト）として使えるように作成しました。



「宝永山出現」静岡県立中央図書館 所蔵



「富士山宝永噴火絵図 夜乃景気」歴史文化情報センター 所蔵

現在公開中！

- 1 「元禄・宝永・安政地震と富士山宝永噴火」
- 2 「江戸時代の陸上・河川交通」
- 3 「江川坦庵（たんなん）」
- 4 「今川仮名目録」
- 5 「静岡と戦争 ～静岡県民の生活を中心として～」
- 6 「静岡と戦争 ～本土決戦態勢と県下の大空襲～」

内容紹介

「授業の種」の内容の一部を紹介します。上図は葛飾北斎が描いた「宝永山出現」です。これは静岡県立中央図書館が所蔵する「富岳百景」の1枚です。この絵図には、押しつぶされた家・逃げ惑う人々・材木の下敷きになった馬・桶や甕などとともに人も宙を舞う様子が描かれています。これは富士山噴火の100年以上後に描かれたものですが、北斎独自の構図から、大噴火の迫力を現代に伝える貴重な資料となっています。

また、左図「富士山宝永噴火絵図 夜乃景気」（沼津市個人蔵）は、東日本大震災後に富士山噴火の社会的関心が高まり、マスコミ等の利用数が100件を超え、将来は地理の教科書や日本史の資料集にも掲載される予定の資料となりました。

その他にも、徳川家康公が浜松鎮守時代に出した自筆花押付きの朱印状や江川太郎左衛門英龍（坦庵）公の描いた絵画、太平洋戦争前後の県内資料では、戦争の実相が伝わるものを数多く掲載し、その内容が分かるように説明文をつけました。

「授業の種」は学校の先生方が利用できるように作ってありますが、一般の方が見ても「なるほど」と静岡県の歴史を理解していただけるWEB資料集です。現在、左の6テーマを公開しています。静岡県の歴史に興味のある方は是非ご覧下さい。

館長この1冊



よくわかる新田次郎

山と溪谷社 編著 山と溪谷社 2012年（当館請求記号：910.268 ニッ）

「山行への思いを一層かき立てるのが、すぐれた山岳小説なのか。それとも山行への思いを充足、昇華させることこそが、山岳小説のミッションなのか。」こんな自問に対する自答は、「山行を思い立つも、山行への思いを断つも、すべて読み手に委ねられている。」となります。山岳小説家の代名詞ともなった新田次郎のすべてが、詰め込まれたこの一冊を読めば、「そこに山があるから」というマロリーの名言に、収斂すると気づきます。新田次郎の膨大な作品への手引きとして、山への誘いとして、「そこに本があるから」とおすすめします。

有声音ムセイオン

検索

「伊豆歴史散歩」とは・・・

歴史文化情報センターでは、伊豆の各地に残る史跡や歴史上の人物・自然などを紹介し、多くの方に伊豆の魅力を知っていただこうと、歴史ガイド「伊豆歴史散歩」をWebサイトで公開しています。

「伊豆歴史散歩」は伊豆半島を3ブロックに分け、「東伊豆編」「南伊豆・西伊豆編」「中伊豆・北伊豆編」として各編それぞれ17枚のスライドに、資料画像と簡単な説明文がついています。また、関連するリンクを貼ってありますので、そこからアクセス方法や詳細なWeb情報を取得できるのが従来のガイドブックとの違いです。内容は人気の歴史スポットから、歴史マニアしか知らない地元情報まで、各編で多岐にわたっています。「伊豆歴史散歩」の内容を簡単に紹介します。

近日公開予定!

中伊豆・北伊豆

「中伊豆・北伊豆編」では、天城の山葵(わさび)栽培の歴史や文豪井上靖の記念碑、日本書紀に登場する古代船、また、安土桃山時代から活躍した絵師狩野派は伊豆市の豪族出身であったこと等を紹介しています。特に源頼朝公や北条氏と関係の深い寺院や史跡、葦山反射炉と江川坦庵公の資料など、中伊豆・北伊豆は伊豆歴史資料の宝庫といえます。



「勇壮華麗小稲の虎辨」
歴史文化情報センター所蔵



歴史文化情報センター
担当タ者!

現在公開中!

東伊豆

「東伊豆編」では、下図の熱海温泉に関する資料やパワースポットの神社、伊東市では地元出身の偉人に関する石碑や墓所、東伊豆町では、江戸城築城石やこの地に伝わる「八百比丘尼(やおびくに)」、「ハンマーサマ」などの民俗資料を紹介しています。



「江戸天保期の熱海温泉宿」
歴史文化情報センター所蔵

現在公開中!

南伊豆・西伊豆

「南伊豆・西伊豆編」は、伊豆独自の文化を伝える資料です。平安時代に造られた伊豆最古の仏像や幕末維新の舞台となった下田市内の寺院、左図の江戸時代から続く南伊豆「小稲の虎辨」、海岸線が美しい「伊豆半島ジオパーク」の資料も紹介しました。西伊豆には入江長八の鐙絵(こてえ)が残り、土肥では戦国期に小田原の北条氏が支配した金山の坑道跡が残り、戸田では幕末のロシア人との交流資料も見学できます。

「伊豆歴史散歩」で紹介しているスライドは、実際に伊豆の各地を歩きながら、地元の方々からエピソードを聞くという取材をしています。残念ながら地元の方の面白い話は掲載できませんが、紹介したスライドのほとんどは実際に歩いて見学することができます。お金をかけず、伊豆の歴史を楽しく見て学んでいただける歴史スポットを満載しました。

伊豆へお越しの際には、「伊豆歴史散歩」で紹介した史跡を散歩してください。伊豆の各地に残る独自の歴史や文化と、豊かな自然の魅力を再発見できると思います。

取材では、多くの関係者の方々にお世話になりました。それぞれが管理される文化財や保護される自然のお話をされる時の真剣な眼差し、楽しいユーモアを交えた専門的なお話は深く心に残っています。皆様も伊豆歴史散歩にお出かけください。楽しい歴史体験が待っていますよ。

いにしえ 昔へ いざない

歴史文化情報センターでは、10月18日から11月10日まで文化の丘フェスタに伴い県立中央図書館1階フロアで「昭和という時代と静岡県」というテーマの小展示を行いました。

三代に渡る県史編さん事業

今回展示の見どころとして、静岡県史編さん事業をとりあげました。

最初の県史編さん事業は、大正15年(1926年)から昭和19年度(1944年度)まで行われましたが、太平洋戦争のため中断されました。

戦後新たに昭和60年度(1985年度)から平成9年度(1997年度)にかけて県史編さん事業が行われ、平成24年度(2012年度)からも再び県史編さん事業が行われています。

大正から現在へと三代に渡って実施されているともいえます。

新たに発見された戦前の資料

戦前の県史編さん事業で収集された資料には、現在、県立中央図書館で整理・公開されているものもありますが、戦争のために所在不明となった資料も数多くあります。

今回、偶然発見された戦前の県史資料の一部を展示しました。未刊行となっていた地名を収集・編集した資料や当時の予算書です。現在、内容を調査しています。



12月の葵レク

葵レクは県立中央図書館主催の図書館講座です。



防災講座 「静岡県の地震対策」

静岡県では、昨年11月に第4次地震被害想定を策定しました。これまでは、東海地震は単独で起こるとの想定でしたが、今回は、駿河トラフから南海トラフ沿いで連続的に発生する想定へと変更しました。今回の講演会では、東海地震の発生する仕組みや対策、昨年策定した被害想定などについてご紹介します。

日時 12月14日(日)
午後2時～午後3時30分
会場 県立中央図書館3階 中集会室
講師 小林 佐登志 氏
(静岡県地震防災センター所長)
定員 30人(先着順・要事前申込)
参加料 無料



オンラインデータベース活用講座 「ナットク! 新聞を使った情報の探し方」

—読売新聞データベース「ヨミダス歴史館」を使って—

オンラインデータベースとは、新聞・雑誌記事や学術論文、法令、裁判の判例などの情報を検索・閲覧できるサービスです。新聞データベースでは、過去の出来事のキーワードを検索することで、素早く記事にたどりつくことができます。今回は、読売新聞データベース「ヨミダス歴史館」の活用方法をご紹介します。

日時 12月20日(土) 午後2時～午後3時30分
会場 県立中央図書館3階 会議室
講師 読売新聞東京本社データベース部
田中 光輔 氏
定員 20人程度(先着順・要事前申込)
参加 無料



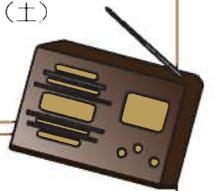
企画展

「昭和ノスタルジー

～懐かしの戦後昭和コレクション展～

新幹線開通、東京オリンピック、大阪万博、沖縄返還、オイルショック……昭和には、いろいろな出来事がありました。そんな懐かしの昭和へタイムスリップ。県立中央図書館では、昭和の電化製品や雑誌、レコード、おもちゃなどを展示します。

期間 11月12日(水)～12月27日(土)
時間 午前9時～午後5時
会場 県立中央図書館3階 展示室
入場 無料



企画展 「心のバリアフリー」

平成18年に制定されたバリアフリー新法では、バリアフリーの認知度を高める「心のバリアフリー」という活動の実施が推奨されています。そこで、静岡市が推進するバリアフリーの取組や、草薙駅周辺のまちづくりの様子を、パネルや模型で紹介します。

期間 11月29日(土)～1月7日(水)
時間 午前9時～午後5時(水～金曜日は午後7時まで)
会場 県立中央図書館2階 インフォメーションホール
入場 無料
主催 静岡県立中央図書館 静岡市

各講座・講演会のお申込み・お問合せは、

- ①電話 054-262-1246
- ②FAX 054-264-4268
- ③メール webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp
- ④来館



平成26年度第2回健康医療情報講演会 「在宅介護の基本知識」

介護保険の手続きや介護技術などについて、お話しさせていただきます。

日時 12月13日(土) 午後2時～午後4時
会場 県立中央図書館
講師 中西 千枝子 氏(介護福祉士)
中邑 愛 氏(介護福祉士)
定員 40人(先着順・要事前申込)
参加料 無料



「新刊サロン」

新着児童書について、自由に語り合う情報交換の場です。

日時 12月20日(土) 午前10時30分～正午
会場 県立中央図書館1階 子ども図書研究室
講師 県立中央図書館職員
定員 10人程度(先着順・要事前申込)
参加 無料



グランシップ県立中央図書館コーナー 「えほんのひろば」がグランシップに戻ります!

工事休館中のため、本館に移動していた「えほんのひろば」ですが、下の期日からグランシップで再開します。

期日 平成26年12月1日(月)から
場所 グランシップ 2階
(静岡市駿河区池田79-4)



県立中央図書館の開館日(12、1、2月の開館日)

■ 休館日 ○ 「えほんのひろば」休館日

12月						1月						2月						【開館時間】			
日	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金				
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	土・日・月・火曜日 午前9時～午後5時 水・木・金曜日 午前9時～午後7時 えほんのひろば 午前9時30分～午後6時	
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13		14
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20		21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27		28
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31								